

山本牧場

穏やかな時間が流れる、山あいの楽園

自分たちのペースで

「当たり前」を「特別」に



御横地区の山あいに広がる山本牧場では、ゆったりとした時間が流れる牧歌的な風景の中で、牛や鶏などの動物が飼育されています。春にはピンクや白、紫などのシバザクラが咲き、毎年開催される「しば桜まつり」には市内外から多くの来場があります。しかし、しば桜まつり実行委員長で、家族で牧場を営む山本幸裕さんは「狙ったものではなかった」と言います。「知人の勧めでシバザクラを植えたところ、親戚や友人が花見に来るようになり、口コミで見物人が増えていったので、せっかくだから何かイベントをと2011年に初開催したのですが、新聞に取り上げられたこともあり予想を超える反響で大変でした」と笑います。

「来た人が喜んでくれるのがうれしい」と話す山本さんは、来場者の意見を参考に、カフェを作り入場範囲を広げるなどブラッシュアップしながらイベントを続けてきました。今年も3月22日(日)～4月30日(木)で開催しています。「子どもの頃から当たり前だった景色を、多くの人が特別に感じしてくれるのは、とても感慨深い。自分たちも楽しみながら、無理の無い範囲で続けていきたい」と穏やかな笑顔で話してくれました。